

山下小学校で出前教室「金目川のひみつを探そう」を行いました

令和2年11月13日（金）の午前中、山下小学校を金目川ネットワークの会員10人が訪問し、4年生を対象に、金目川についての出前教室を実施しました。

10月9日に続いていた出前教室ですが、今回は全員が座って講師から説明を受ける方式だったのに対し、今回は、子ども達を4グループに分けて、当会が用意した4つのコーナーを順番に巡り、実物も見て触ることができる体験型の教室としました。

(1) 鳥コーナー

ビデオを見せながら、金目川に生息する様々な野鳥の興味深い生態を説明しました。サギの種類の違いの説明や、鵜が漁をする周囲で待機するサギの群れの映像などに、子供たちが熱心に見入っていました。



(2) 植物コーナー

子供たちの前の机の上に金目川の植物を並べ、それらを触ってもらいながら、パネルで説明しました。ときどき、子供たちからも「あっ、その草見たことある！」という声があがっていました。



(3) 魚コーナー

パネルとビデオで金目川の魚類を紹介した後、体育館の外に置いた水槽コーナーで、生きている魚を、見るだけでなく触ってもらいました。初めてウナギやナマズ、カニなど触る子供たちの声が弾んでいました。



(4) 石コーナー

机の上に金目川の上・中・下流のそれぞれの河原の石を並べ、川の流れの影響で石の形や大きさが変わってくることを説明しました。子供たちは、実際の石や川砂を触って重さや感触を確かめていました。



子供たちは順番に4つのコーナーを巡るのですが、会員は4グループに対して説明を繰り返すので大変でした。

しかし、今回は、金目川の鳥類・植物・魚類・岩石について、映像やパネルでの説明にくわえて、「実物」を見て触る機会を提供することによって、子供たちに金目川のより豊かなイメージを伝えることができたので、終了後の会員の表情にも満足感が溢れていました。

(リポート：関戸)